



一般社団法人和栗協議会

**WAGURI COUNCIL**

---

2026.02.17

Vol1. 2026.01.19 作成  
Vol2. 2026.02.16 更新

# ①生産者ネットワーク強化 栗畑の拡大

【令和7年度の活動】

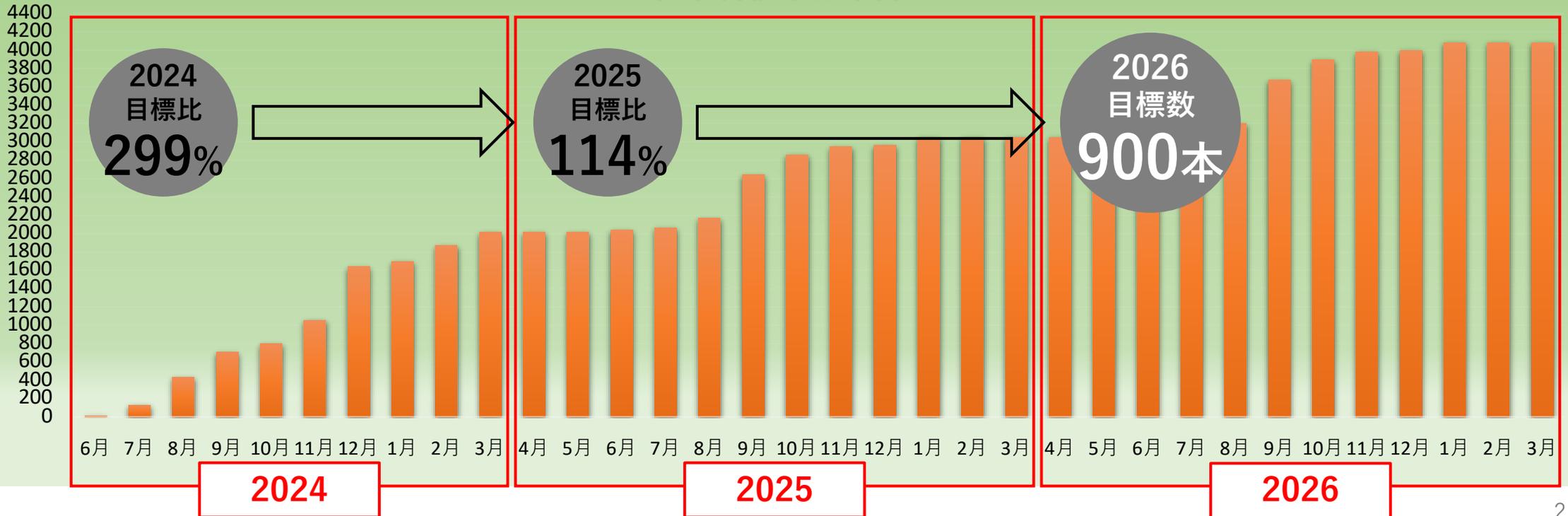
## 1. 各種講習会の実施



## 2. 第1回 生産者フォーラム2025開催



和栗新植本数累計



# ①生産者ネットワーク強化 栗畑の拡大



**POINT①**  
栗&他生産者  
200名

- ①栗生産者 86名⇒115名
- ②プラットフォーム作り
- ③新規栽培者向け講習会

**POINT②**  
栗新植  
900本

- ①剪定講習会
- ②実際の園地での指導
- ③新植、改植の指導

**POINT③**  
苗木づくり  
200本

- ①高温対策資材の試験
- ②他産地の情報収集
- ③苗づくりの技術継承

**POINT④**  
販売単価  
1,600円

- ①2024年1,500円
- ②2025年1,600円
- ③全国平均897円

## ●連携産地—高知県四万十



株式会社四万十ドラマ  
代表取締役会長  
畦地 履正様

### ▶経歴

1964年：高知県四万十町（旧十和村）生まれ。

1987年：十川農協（現高知はた農協）に就職。

1994年：四万十川中流域町村が設立した第三セクター**四万十ドラマ**に入る

2005年：**四万十ドラマ**完全民営化

2007年：**代表取締役就任**

「四万十川に負担をかけないものづくり」をコンセプトに、地栗や芋など地元資源を活かした**地域商社事業**や道の駅「**四万十とおわ**」の運営を手掛ける

### ▶四万十ドラマの取り組み実績

2007年：**高知県地場産業大賞**

2007年：農林水産省「**立ち上がる農山漁村**」認定

2008年：経済産業省「**ソーシャルビジネス55選**」認定

2010年：総務省「**地域づくり総務大臣表彰**」優秀賞

2013年：経済産業省「**がんばる中小企業・小規模事業社300社**」

## ②BIGURI LUNCH（ビックリランチ）

同じ日に、産地と都市、世代と世帯をつなぐ「BIGURI LUNCH」を開催。  
和栗で、日本をひとつに。産地を、誇りに。森と都市を、未来へ。

### ■背景

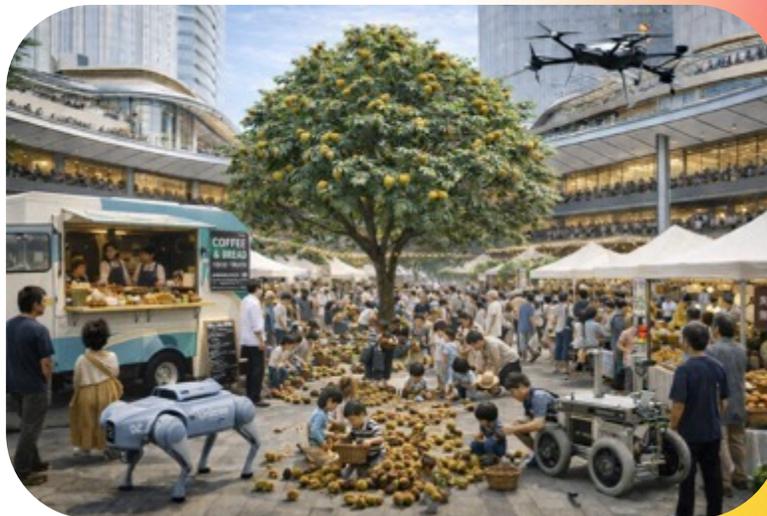
日本の和栗は、縄文時代から日本人の食と暮らしを支えてきた「国の資産」です。しかし現在、栗を含む一次産業は、生産者の高齢化/担い手不足/産地の縮小/森林管理の課題/都市と産地の分断といった構造的課題に直面している。

一方で、日本の森林は国土の約67%を占める世界有数の森林国家でありながら、都市生活者が森や一次産業と触れる機会は限られています。

和栗は、一次産業 × 森林 × 文化 × 地域経済 を束ねる象徴的な存在です。英国で2009年に始まった「The Big Lunch」は、食を通じて地域のつながりを強化し、2023年には2,000万人以上が参加する社会的インパクトを生みました。このモデルを参考に、和栗を軸に日本型の“つながる食の場”を創出します。



## ②BIGURI LUNCH (ビックリランチ)



味わう

つながり

# BIGURI LUNCH

@TAKANAWA GATE WAY

生産者の想い、栗の歴史や課題を紐解き、  
和栗の真価と未来への可能性を味わい尽くす学びの場

学び

生産者  
背景

未来  
歴史

森・自然



# 2026.11

coming soon



## ②BIGURI LUNCH (ビックリランチ)



KUMAMOTO YAMAGA  
熊本 山鹿市



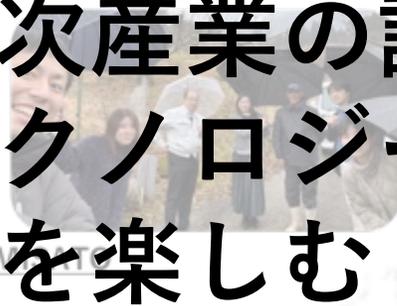
ISHIKAWA NOTO  
石川 能登町



HOKKAIDO KURIYAMATYO  
北海道 栗山町

# MISSION

- 1 ▶ 生産者ネットワークをつなぐ
- 2 ▶ 森と都市をつなぐ
- 3 ▶ 一次産業の課題に触れる・知る
- 4 ▶ テクノロジー・ロボットに触れる・知る
- 5 ▶ 栗を楽しむ・食を楽しむ



EHIME UCHIKOTYO  
愛媛 内子町



KOCHI SHIMANTO  
高知 四万十市



GIFU ENA・NAKATSUKAWA  
岐阜 恵那市・中津川市



SHIZUOKA ENSHU  
静岡 遠州

## ②BIGURI LUNCH (ビッグリランチ)



株式会社ひらく  
取締役 武田建悟様



ひらく



一般社団法人  
和栗協議会



NEWoman  
TAKANAWA



株式会社ルミネ  
ニューマン高輪店 藤井久美子様

## ②BIGURI LUNCH (ビックリランチ)



株式会社ひらく  
取締役  
武田 建悟様

### ▶経歴

2011年：日本出版販売株式会社に入社

新規事業部の設立時から、様々な企画や場づくりを担当。

2018年：入場料のある本屋「**文喫 六本木**」

2021年：百貨店カルチャースクールとの新業態「**文喫 福岡天神**」

2024年：名古屋市の商業施設中日ビルにて「**文喫 栄**」

2025年：ニューマン高輪にて自由で楽しい本屋「**BUNKITSU TOKYO**」

### ▶その他

企業ライブラリ「**READING ROOM**」

原宿ハラカド雑誌の図書館「**COVER**」

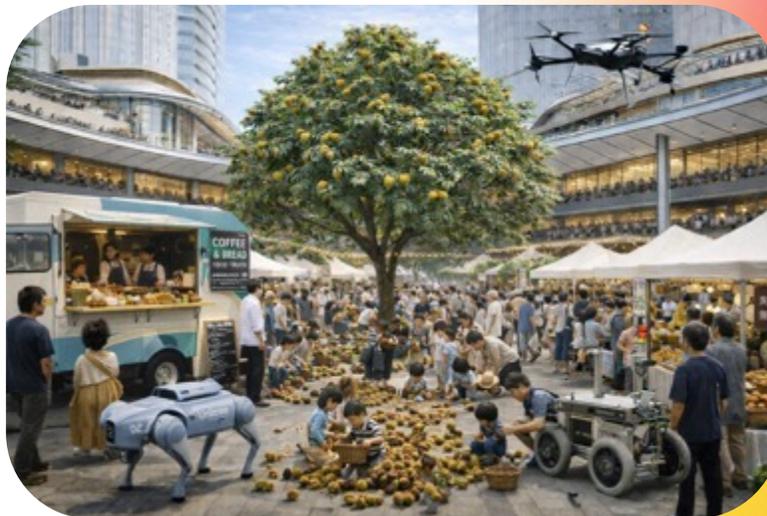
下関ブックホテル「**ねをはす**」

ニューマン高輪「**こもれびら**」などの案件を手掛ける。

単なる空間デザインや小売店づくりにとどまらず、『本』を起点に人やコミュニティがつながる「**リアルな場所**」の創出・デザインに軸足を置く。

### ▶カルチャーリンクマレーシア社外顧問CCO

## ②BIGURI LUNCH (ビックリランチ)



味わう

つながり

# BIGURI LUNCH

@TAKANAWA GATE WAY

生産者の想い、栗の歴史や課題を紐解き、  
和栗の真価と未来への可能性を味わい尽くす学びの場

学び

生産者  
背景

未来  
歴史

森・自然



# 2026.11

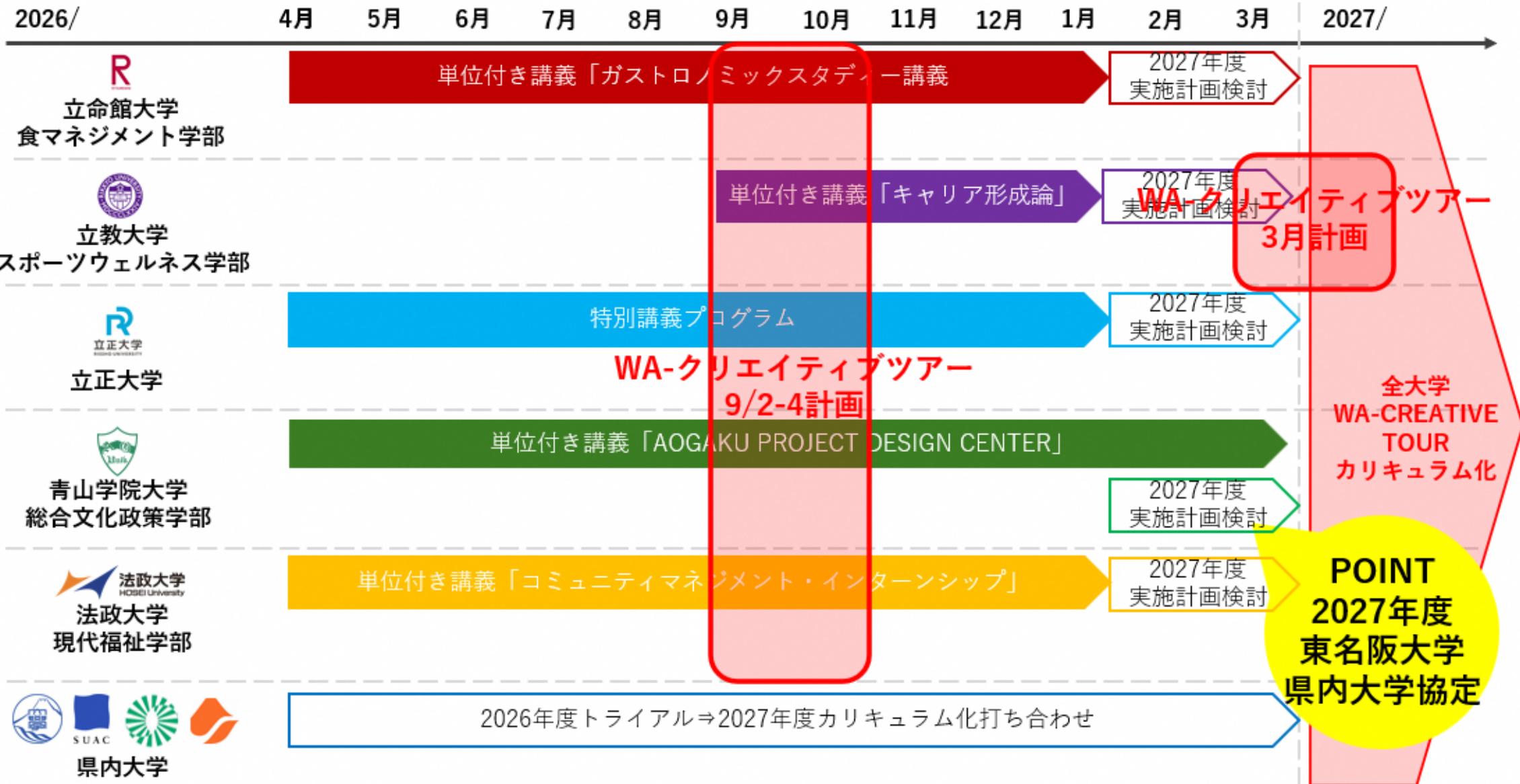
coming soon



### ③スタディツアー⇒WA-クリエイティブツアー2026 2年目

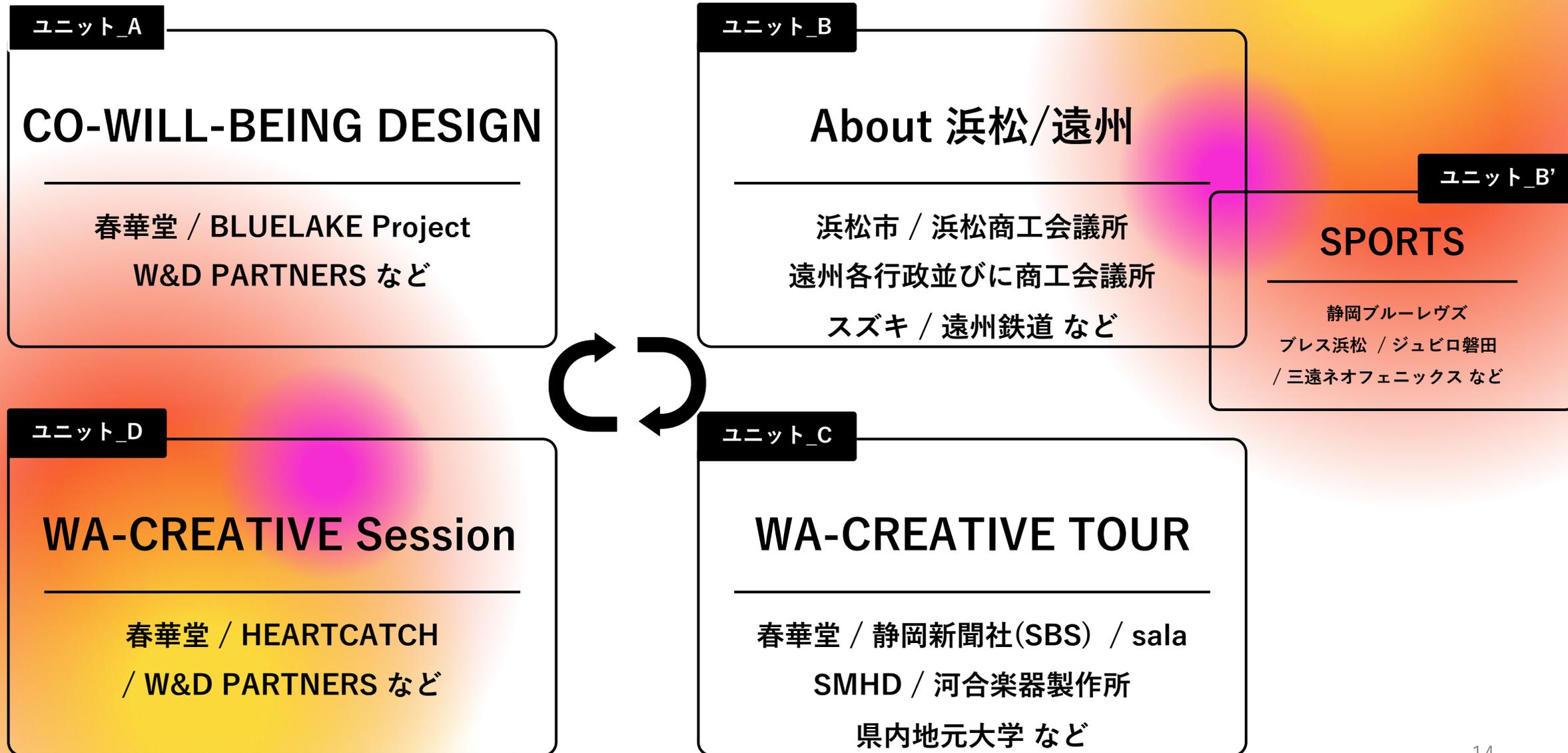


### ③スタディツアー⇒WA-クリエイティブツアー2026 2年目



### ③スタディツアー⇒WA-クリエイティブツアー2026 2年目

2026年度講義運営を「ユニット」単位で捉えて「ユニット編成」を変えながら各大学講義を計画



## コルシカ国際交流

2026年12月ポコニャーノ栗フェアに参画・出展。  
産地交流をはかる。



# ●一般社団法人和栗協議会 2026年度組織体制

2026  
新設

- ・JAの栽培指針づくり
- ・勉強会・産地交流
- ・農地カルテ一元管理化

生産拡大10年45t  
産地リスト見える化  
未来型果樹産地



JA静岡経済連 松尾栗園  
JA掛川市 農林環境専門職大学  
JA遠州夢咲 たこ満  
JA遠州中央  
フルーツパーク  
saguri

01  
生産部会  
Production  
生産拡大に向けた活動

06  
森づくり部会  
Forest environment  
森林環境



生物の多様性  
森林環境保全  
温暖化Jクレジット



05  
研究部会  
Research  
付加価値の仮説・立証

- ・熟成和栗の規格化
- ・栄養素を知る
- ・海外栗との比較
- ・価値基準づくり



光技術の糖度測定  
エビデンスづくり  
貯蔵・熟成研究

浜松ホトニクス  
農林環境専門職大学  
静岡大学  
静岡県立大学  
松尾栗園

作業支援ロボット  
選果技術の自動化  
技術面の実証実験



ヤマハ発動機 天竜自動車運送  
ソミックMHD 平出章商店  
SUZUKI HMK Nexus  
Mスクエアラボ

02  
技術部会  
Technology  
生産効率向上の技術開発  
新たな可能性イノベーション

- ・傾斜地収穫の自動化
- ・自動運転モビリティ活用
- ・選果自動化の可能性
- ・ドローン実証実験

和栗ブランディング  
広報発信連携  
学生プロジェクト



SBS静岡新聞社  
日本航空  
各社広報担当  
JETRO  
Discover Japan

- ・和栗新聞
- ・スタディツアー大学連携  
立教大・立正大・立命館大  
青山学院大・法政大学
- ・地域共創キャリア創出

03  
広報人事部会  
Public relations  
ブランディング  
人財づくり

04  
企画商品部会  
Event・Merchandise  
消費者への出口戦略  
和栗の文化醸成

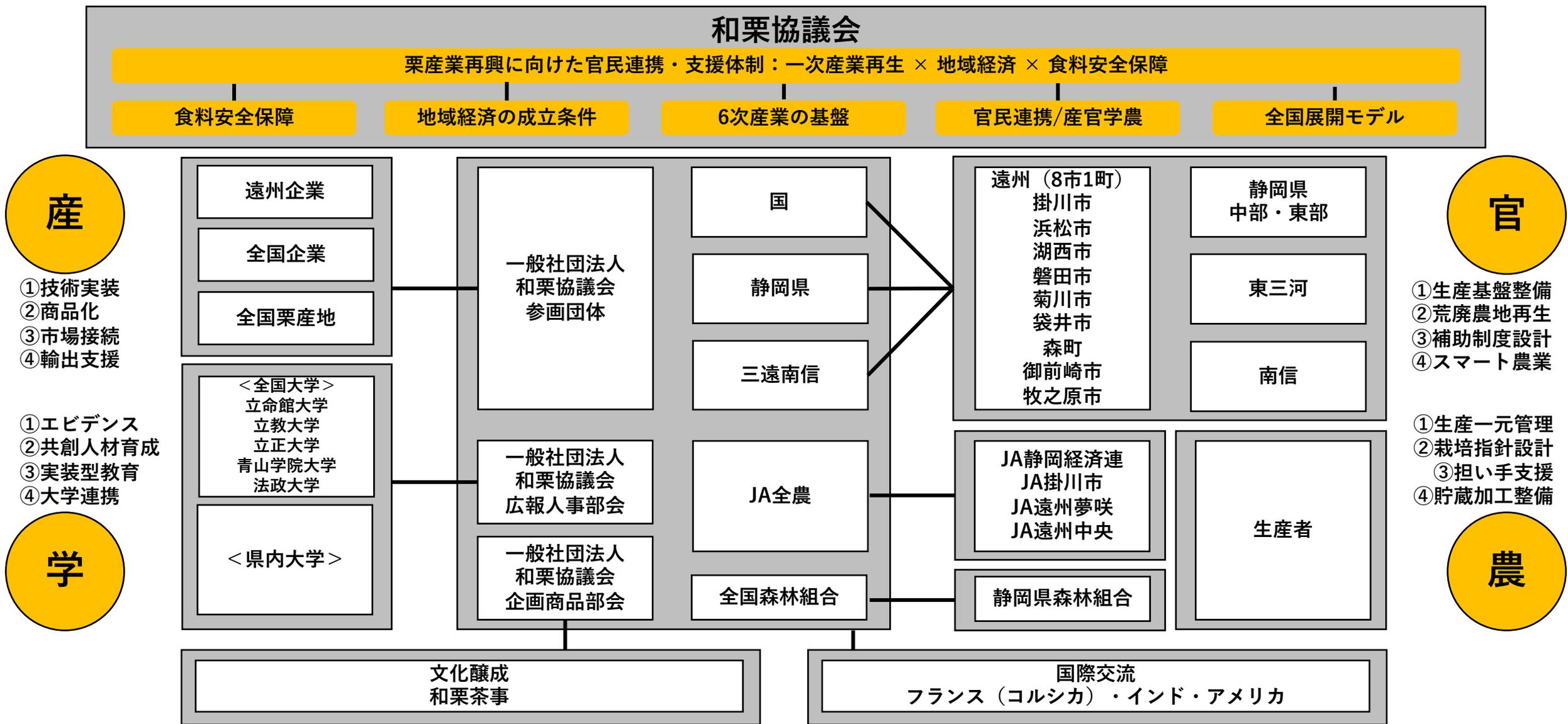


イベント企画運営  
商品開発  
認証マーク販売

春華堂 浜松いわた信用金庫  
遠鉄百貨店 GODA  
日本航空 ヤマハ/ヤマハリゾート  
呉竹荘HD ローランド  
たこ満 日本モンブラン協会

- ・茶事を応用して文化醸成
- ・遠鉄百貨店催事出店
- ・WAGURIレセプション
- ・ピクニックランチ

# ●一般社団法人和栗協議会 2026-2028年度体制→展開・制度接続：政策・支援理由の明確化



- STEP4▶2026 国接続／モデル : 政策接続に向けた制度化・エビデンス提示
- STEP5▶2027 全国主産地展開 : 日本全国の栗産地と共通課題への連携体制を確立\*宇宙部会検討
- STEP6▶2028 農業政策化制度設計 : 国策としての制度化・全国一次産業再生モデルへの格上げ